

事業所名

まいる一む放課後こども教室 鶴原校

支援プログラム

作成日

2024 年

10 月

18 日

法人（事業所）理念		「療育の世界に新しい道を」 すべての人々が分け隔てなく成長し、心身ともに「健康」をはぐくむ環境を創る						
支援方針		ICTを使った室内運動療育をベースとして日常生活や運動に必要な動きや身体動作をゲーム感覚で養う。 制作・微細運動・体験活動などを通して、コミュニケーションに重要な「自己発信」「周囲の情報の受信」のスキル獲得への支援を行う。 上記のスキルを活かした自立に向けての活動に取り組む。何でも自分でできることを目指すのではなく、『適切に頼る』『ヘルプを出す』スキルを身に付け、社会で自分のポテンシャルを発揮できるような基盤づくりを行う。						
営業時間		平日	10 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		土・祝日	10 時	0 分から	16 時	0 分まで		
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 心身の健康状態の把握(来所時に検温ができていない場合はその場で検温を実施)。 安定した生活リズムの定着を支援する(タイムスケジュールに沿った活動、場面切替での声掛けや誘導など)。 身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。 						
	運動・感覚	ICTを使った運動療育の機会を提供し、日常生活及び体幹などの身体機能の向上を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> 楽しみながら運動に参加する。 正しい姿勢の保持、確認を行う。 手先の巧緻性を高める。 全身の運動や協調運動の実施。 ビジョントレーニングの実施。 微細運動(手先の運動)の実施。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> はじめの会や終わりの会でホワイトボードでスケジュールを示し、声掛けなどで促す。 視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用して必要な情報を収集し、認知機能の発達を促す支援を行う。 小集団での活動により適切な行動が形成できるよう支援を行う。 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけることで、体系的な言語の習得を促す。 はじめの会、終わりの会での発表や、活動中の道具のやり取りによる言語表出と受容。 言語表出及び需要が難しい場合は絵カードや模倣による実践。 話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う。 						
	人間関係社会性	他者との関係構築や集団参加への支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> アタッチメント形成 一人遊びや少人数での遊びから連合的な遊びへ移行を促しながら、社会性の発達を支援する。 						
家族支援		家族が抱える悩みや課題を共有してもらい、解決方法を模索する。 行政、医療、教育など関係機関と連携してサポートを行う。 状況に応じて臨機のモニタリングやヒアリングなどを実施する。			移行支援		進学先や就労先でより適切なサポートの中で 本人のパフォーマンスが発揮できるよう連携する。	
地域支援・地域連携		行政、教育機関、障がい福祉サービス事業所と連携し、 地域イベントへの参加や、社会貢献活動を実施する。			職員の質の向上		虐待防止、強度行動障害、その他資格や療育スキル研修。 社内での新人研修や行政主体の研修への参加。 他施設の方からのスーパーバイズを受ける。	
主な行事等		季節ごとのイベントや、社内の他施設との合同イベント、保護者参加型イベントの実施。 保護者向けの講演会や保護者面談の実施。						